

JMoF 実行委員会 活動報告書

2020年7月～2021年6月

JMoF 実行委員会

1. 活動の成果

JMoF 2021 は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大における社会情勢に鑑み、開催中止を決定した。

他方、コンベンション以外のケモノ文化の交流・発展を図る取組みとして、VR JMoF 2021、JMoF Channel、グッズ製作とオンライン販売、豊橋市地元企業との連携を実施し、ケモノ文化の発展に対して一定の実績を作った。

グッズ販売の売上はあったものの、同グッズの原価やオンラインで開催した企画の費用、次回 JMoF 2022 以降の現地開催のための維持費等により、支出が収入を上回った。

2. 財産および損益の状況

(1) 貸借対照表

貸借対照表			
流動資産	1,342,756	流動負債	240,229
		純資産	1,102,527
資産合計	1,342,756	負債・純資産合計	1,342,756

(2) 損益計算書

損益計算書	
売上高	991,900
うちグッズ等	991,900
売上原価・販管費及び一般管理費	1,439,763
営業損失金額	▲ 447,863
営業外収益	37,284
経常損失金額	▲ 410,579
税引前当期純損失金額	▲ 410,579
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期純損失金額	▲ 480,579

3. 今後の方針

COVID-19 を取り巻く情勢は先行き不透明な状況が続いている。JMoF 2022 は例年と異なる形式・規模で開催するところ、収入と支出の双方の見直しを継続し、引き続き、営利を主目的としない範囲において、安定した運営を長期に維持する。

あらゆる方法を模索してコンベンションを開催し続けていくことがケモノ文化の発展に寄与するという考えのもとに、JMoF 2022 は、参加者数を限定し感染防止対策を行いながら、現地にて2日間開催する。今後も、ファミリーコンベンションという、ケモノが持つ多様な文化を扱う共感の場を未来に繋いでいく。

以上